

無償資金協力に係る事後評価票

(注)本案件は外務省評価案件であり、外務省による一次評価を踏まえ外部有識者による二次評価を実施していますので、評価項目ごとの二次評価結果を追記しています。
二次評価の概要については、外務省ホームページに掲載されている無償資金協力におけるプロジェクト・レベル事後評価報告書(平成20年度)をご参照下さい。

担当公館名：在トリニダード・トバゴ日本国大使館	
国名：セントビンセント	案件名：キングスタウン魚市場改修計画
E/N署名日：2003年8月27日	供与限度額：7.55億円
先方実施機関：水産局、魚市場公社	完工日：2005年2月28日
他の関連協力：	
1. 案件の目的 (B/D時の目標・想定効果を記載)	<p>キングスタウン魚市場はセントビンセントの唯一の魚市場であり、本島の水産物の90%が水揚げされる零細漁民の水揚げ基地として、同国の水産物の生産・流通・輸出に大きく貢献してきた。しかしながら、近年は国内外において、安全かつ高品質な食品に対する需要が高まっており、建設後15年を経た魚市場は施設の老朽化も相まって、このような時代の変化に必ずしも機能的に対応できなくなっている。このため、魚市場の機能を強化することによって、生産・流通段階における衛生状態の改善を図り、これを基盤にして衛生的で安全な付加価値の高い水産物をキングスタウン及び周辺地域の消費者に供給することを目的としている。</p>
2. 案件の内容	<p>1. 既存魚市場内 屋根、壁、フロアの改修 上下水道管、天井、エアブロワーの設置 市場事務所の1階への移転 棧橋と市場間の通路舗装 冷蔵・冷凍・製氷施設の改修</p> <p>2. 加工・衛生検査施設 冷蔵・冷凍・製氷施設 会議室、食品分析室・細菌検査室 加工機材の整備(ベルトコンベアー、真空包装機、高圧洗浄機等) 衛生検査機材の整備(乾燥滅菌器、冷却遠心分離器等)</p>
3. 案件の妥当性	<p>全般的評価：A (外部有識者による二次評価:A-)</p> <p>第1回日・カリコム(CARICOM(カリブ共同体)):カリブ諸国を中心に14ヶ国1地域からなる地域共同体)閣僚級会合(2000年)において策定された「21世紀における日・カリコム協力のための新たな枠組み」の中で合意した水産業の更なる強化のためにインフラ開発等の分野において緊密な協力を行うこととしていることから、本プロジェクトは我が国の援助方針に合致している。</p> <p>セントビンセントは「3ヶ年国家開発計画」(2004~2006)において、所得不均衡の是正と食糧安全保障の枠組みにおける輸出振興と民間セクター開発を通じた貧困削減を設定し、関連施策として「従来のバナナ中心の農産業から脱却し、生物の多様性を図る観点から豊富な未利用資源が存在する水産業を重要な開発部門として位置づける」としており、同国の開発戦略に合致している。</p>

	<p>近年、水産物の供給量の増加だけでなく、国内において安全かつ高品質な食品に対する需要が高まっていることから、現地のニーズに合致している。</p>
<p>4. 施設／機材の適切性・効率性</p>	<p>全般的評価：B＋（外部有識者による二次評価：B＋）</p> <p>魚市場の利用状況は販売者及び消費者からの聞きとり調査から、冷蔵・冷凍・製氷施設の利用状況は魚市場公社の収支決算表（施設利用料及び氷販売料等）から、会議場の利用状況は利用実績簿（月平均15回利用）から、食品分析室・細菌検査室の利用状況は検査記録及び検査官への聞きとり調査から、それぞれ十分に利用されていることを確認した。一方、加工施設は十分に利用されているとはいえないが、当初計画において輸出対象魚とされていたハインズ（小型ハタ類）等魚種に対する国内需要が増加したために、輸出用の加工施設を利用する必要性がなくなったためである。市場管理者は、加工施設の民間企業への貸し出しを検討しており、有効活用したい旨述べていた。</p> <p>以上のことから、本案件における施設・機材の投入は概ね適切かつ効果的な投入であったと判断できる。</p>
<p>5. 効果の発現状況（有効性）</p>	<p>全般的評価：A－（外部有識者による二次評価：B＋）</p> <p>魚市場は多くの客が来場するにもかかわらず、検査員の定期的な指導によって、常に清潔に保たれている（写真1）。多くの販売者は衛生的な水産物を供給できるようになったと述べていたが、これは魚市場の改修及び製氷機等の設置により、水産物の鮮度保持が可能となったことが理由の一つであると考えられる。また、冷蔵・冷凍・製氷施設の更新により、電気代が削減され、健全な経営に寄与していると市場管理者は述べていた。</p> <p>加工・衛生検査施設の建設によって、水産物の衛生環境整備に関する意識が高まり、2003年には1名もいなかった食品衛生管理システムに関する検定であるHACCPコースの検定合格者が2007年には14名に達した。また、HACCPワークショップがミーティングルームを利用して、過去1年間に17回開催され、のべ208名が受講している。</p> <p>以上のことから、当初想定された効果は概ね発現されていると評価できる。</p> <div data-bbox="427 1608 946 1995" data-label="Image"> </div> <p>写真1：魚市場内の衛生状況</p>

6. インパクト
（上位目標
への影響
等）

全般的評価：A－（外部有識者による二次評価：B）

本プロジェクトの上位目標は、水産物の流通量、需要の増加を通じて漁民の生活水準に貢献することにある。

水産物の流通量及び需要の増加を定量的に示すデータはない。他方、セントビンセント水産局の統計データ（表1）によれば、水産物の輸入量は増加している。このことに対して、同局職員は、本プロジェクトを実施したことにより安全で衛生的な水産物が供給できるようになった結果、国民の水産物に対する需要が増加したが、漁獲量に大きな変動がないことが水産物の輸入増加に繋がっているとの見解を示している。

また、零細漁業者の生活水準向上を定量的に示すデータはないものの、零細漁業者の多くから本プロジェクトが実施されたことに対し、感謝の声が聞かれた。

以上から、正のインパクトは発生していると判断される。

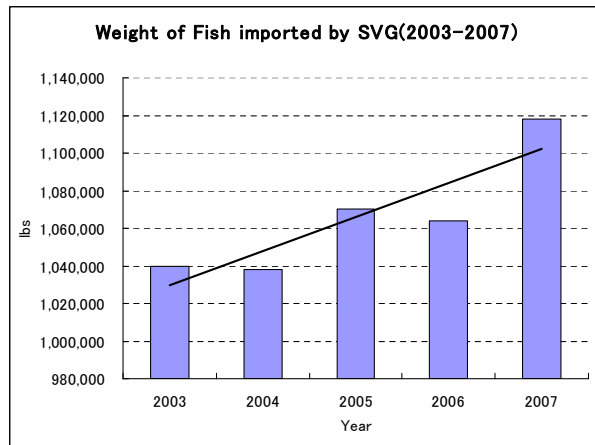


表1：セントビンセント水産物輸入データ（出典：水産局）

7. 自立発展性・さらなる改善の余地
（改善の余地がある点については以下に記入）

全般的評価：A＋（外部有識者による二次評価：A－）



魚市場公社は優秀な技術者を雇用し、施設・機材の保守・管理を行っているだけでなく、氷の販売や冷凍施設及び市場利用料の徴収等により運営資金を捻出しており、自立発展性は確保されていると判断できる。

水産局は今後もHACCPコースの検定合格者を増加させる計画を立てている。また、品質検査室では、水産物の検査を行いつつ、新たな水産加工品の開発も行っている。

水産関係者への聞き取り調査を通じて、本施設を十分に活用しセントビンセントの水産業の発展を願う彼らの強い意欲が感じられた。

(1) 対応方針

(2) 対応方針理由

<p>8. 広報効果（ビ ジビリティ ー）</p>	<p>全般的評価：A＋（外部有識者による二次評価:A）</p> <p>E/N署名式ではゴンザルベス首相が署名したことにより、地元新聞社、ローカルテレビにより報道された。また、開所式・引渡式には首相、外相を含むほとんどの閣僚、国会議員、メディア等 200 名の参加の他、数百名の市民が取り囲むような格好で式が執り行われた。</p> <p>魚市場正面には我が国からの援助を示す銘板等（写真2、写真3）が、裏口には、各資機材にはODAステッカーが添付されている。</p> <p>キングスタウン魚市場は「リトルトーキョー」と呼ばれ、日本の協力事業として当国国民に知られていたが、本案件の実施後、周辺カリブ諸国にも衛生環境が整った魚市場として広く知られることになった。</p> <p>以上から、本プロジェクトの広報効果は十分であると判断される。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>写真2</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>写真3</p> </div> </div>
<p>9. 被援助国に よる評価 （外交的効果に ついて、本欄 に記述する）</p>	<p>本プロジェクトの実施により、安全で衛生的な水産物を購入できるようになったと多くの消費者からコメントが聞かれた。更に、零細漁業者及び販売者も本件実施に感謝の意を示した。</p>
<p>10. 提言・教 訓</p>	
<p>11. その他</p>	